

OneAdvisor 800 800G トラnsポートモジュール

最大 800G に対応するフィールド向けに最適化されたネットワークテストツール



OneAdvisor 800 は、作業員やエンジニアが最大 800G の大容量ネットワークを敷設および保全するために必要なすべてのテスト機能を提供します。その携帯性とモジュール方式により、OneAdvisor 800 はメトロ/コア、データセンター相互接続、およびビジネスサービスのテストに最適です。OneAdvisor 800 用の 800G 輸送ポートモジュールは、最大 800GE のテストに対応し、MTS ファミリーのすべてと同じユーザーインターフェイスを備えています。

OneAdvisor 800 により、通信サービスプロバイダー、データセンター事業者、およびコントラクターは 800G の導入に伴う新たなニーズに対応することができます。コア光輸送ポート、データセンター相互接続、データセンター内のアプリケーションに最適です。OneAdvisor 800 は、800G 輸送ポートインターフェイスの重要評価指標の検証、800G 光モジュールおよび AOC/DAC/AEC ケーブルのテスト、さらにはレガシーインターフェイスの保全を行うことができるオールインワンのツールです。



主な利点

- **光フォームファクターの柔軟性。**デュアル QSFP-DD800、OSFP800、および SFP-DD インターフェイスを備えた最新の光フォームファクターのすべてをテストできます
- **輸送ネットワークの性能評価。**光スペクトラム解析を組み合わせた、最大 800G のコヒーレントプラガブルトランシーバー (ZR/ZR+) に対する高度なサポート
- **データセンターにおけるトラブルシューティング。**最大 800G の光トランシーバーおよび AOC/DAC/AEC/ACC ケーブルの問題を素早く特定できます
- **オールインワンサポート。**1台の装置で 800G から 10M までテストし、光ファイバーをトラブルシューティングできます
- **使いやすいインターフェイス。**業界で最も広く使用されているグラフィカルユーザーインターフェイス - 800G テストの操作を数分で習得可能
- **長時間バッテリー動作。**複数のバッテリーを搭載して長時間のテストが可能

特徴

- **広範な回線速度に対応。**イーサネット (800GE から 10/100/1000 まで)、OTN、ファイバーチャネル、および非フレーム BERT を1つのモジュールでテストできます
- **一貫した結果。**ユーザー間のテストの一貫性を促進するスクリプト化されたワークフロー (QuickCheck、RFC 2544、OTN チェック、光トランシーバーセルフテスト、AOC/DAC/AEC ケーブルテスト)
- **モジュール式であることによる柔軟性。**OTDR、WDM Checker/OSA モジュールなど多くの VIAVI テストモジュールと組み合わせることにより、有線ネットワーク、ネットワークのタイミングおよび同期をテスト可能

フィールド対応 800G プラットフォーム

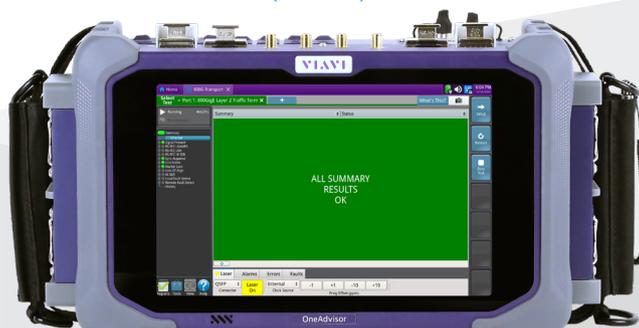
- 8 インチ高視認性タッチスクリーン
- フィールドでの使用に最適な耐久性の高いデザイン
- 長時間バッテリー動作
- 内蔵 WiFi および Bluetooth (オプション)
- SmartAccess Anywhere による遠隔コーチング

確実に 800G をフィールドに導入

高度な 800G 機能

- 800GE および 2x400GE テストインターフェイス
- デュアル OSFP および QSFP-DD 光トランシーバー用スロット
- コヒーレントプラグブル光トランシーバー (ZR/ZR+) に対応
- 光トランシーバーのセルフテストとケーブルテスト
- 400G から 10M までに対応

最新のデータセンターおよびトランスポート
インターフェイスをすべてテスト可能



無料の光ファイバーテスト

- 主要ファイバー: パワーメーターと目視による故障箇所の特定
- ファイバーのトラブルシューティング: OTDR
- 光学特性評価: OSA
- ファイバーの特性評価: 光学分散

1つのツールですべてを実行

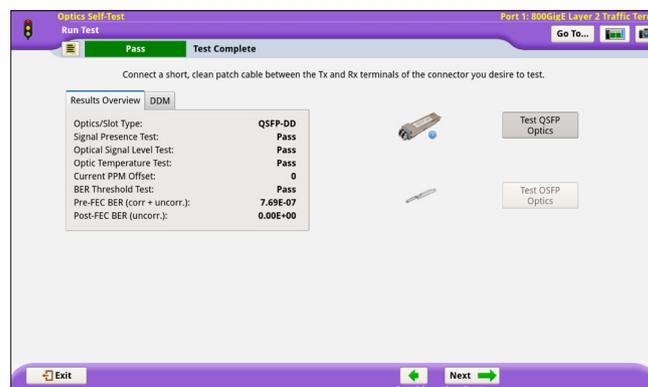
テストプロセスの自動化

- VIAVI Mobile Tech: モバイル機器との接続を簡素化
- StrataSync™: 資産、レポート、設定、ステップバイステッププロセスの管理

チーム全体のテストを効率化

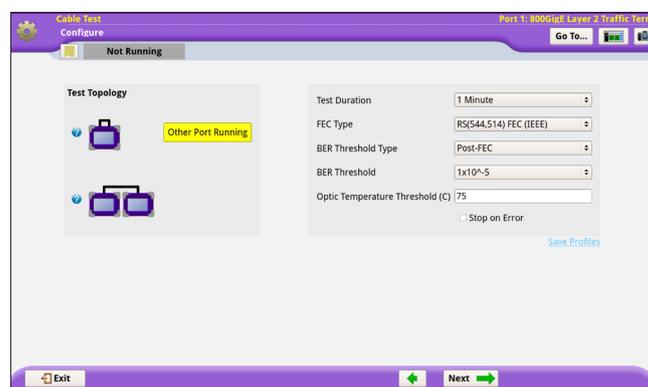
光トランシーバーセルフテストによるトラブルシューティング

光トランシーバーセルフテストは、プラグブル光ファイバー関連の性能問題を特定してトラブルシューティングするためのワークフローツールです。プラグブル光トランシーバーの問題を切り離すのが困難なフィールド環境に特に適しています。QSFPx、OSFPx、SFPx で使用可能です。このツールは、ターゲット BER に基づいた推奨テスト時間の計算機能を備えています。このツールは、各ラインレートに対して含まれており、光パワーなどの情報を監視し、温度しきい値を設定します。



ケーブルテストでのテスト

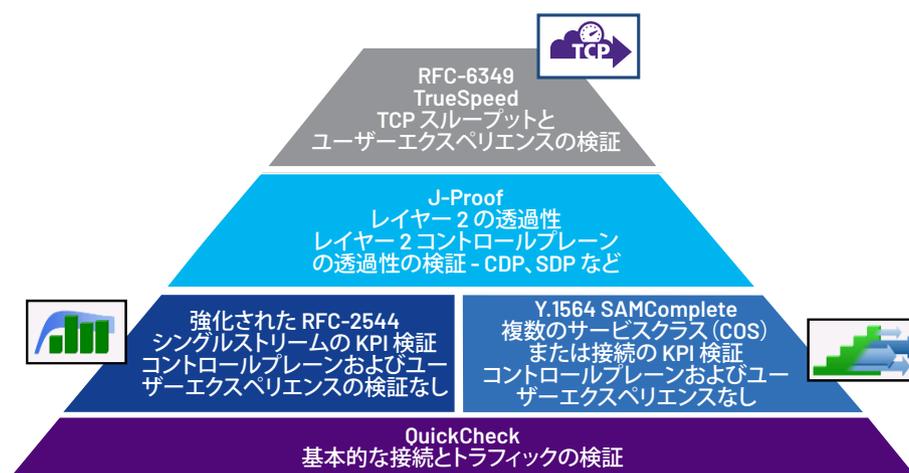
ケーブルテストは、サンプルテスト AOC/DAC/AEC ケーブルのトラブルシューティングを行うワークフローツールです。これは、ストレートバージョンとブレイクアウトバージョンを含む光ケーブルとメタル線ケーブルに適用されます。デュアル OSFP および QSFP インターフェイスにより、あらゆるインターフェイスの組み合わせのケーブルを簡単にテストできます。ケーブルテストは、ケーブルをテストする際に複数のパラメータを検証しますが、合否基準を決定するための主要パラメータはビットエラーレート (BER) です。800GE のような FEC を使用するイーサネットレートでは、FEC 前と FEC 後の両方の結果が得られます。



イーサネットのサービスアクティベーション時間を短縮

OneAdvisor の自動テストを使用して、迅速かつ効率的にテストできます。

- **QuickCheck** - End-to-End の構成を検証し、RFC 2544 または Y.1564 前のプリチェックテストまたはスタンドアロンテストとして実行できる高速自動テスト
- **強化された RFC 2544** - 時間効率をビルトインした自動ターンアップテスト
- **Y.1564 SAMComplete™** - SLA に基づいて複数のサービスクラス (COS) や接続の検証を高速化する自動サービス検証テスト
- **RFC 6349 TrueSpeed™** - 規格に基づく再現可能なテストで、レイヤー 4 TCP トラフィックの顧客体験を検証できます



OTN Check による OTN サービスアクティベーション

VIAVI 独自の OTN チェックツールにより OTN サービスのテストを大幅に簡素化します。このワークフローツールは、OTN ペイロード検証、往復遅延、透明性テスト、暗号化テストなどの主要テストを統合することで、新しい OTN サービスのターンアッププロセスを自動化します。OTN チェックは、テストプロセスを効率化し、合否結果を生成します。

拡張モジュール

拡張モジュールはいくつかの追加機能を提供し、本体背面に接続することができます。



モジュールには以下があります。

- オプションの拡張バッテリー：バッテリーのパワーで長時間の実行が可能
- OTDR ファミリーの全モジュール：Smart Link Mapper 機能搭載。アイコンを使ったマッピング表示で、検出された問題を特定・診断可能
- OSA-4100 光スペクトラムアナライザ：フルバンドに対応し調整可能な SFP 制御
- チャンネルチェッカー：着信信号のスペクトラム表示
- タイミング拡張モジュールバージョン 2：ホールドオーバー時に安定したルビジウムのタイミングソースを提供

StrataSync - 資産を強化

StrataSync は、VIAVI 測定器上で資産、構成、およびテストデータを管理するためのクラウド対応のホスト型ソリューションです。すべての測定器ソフトウェアが最新であることを確認し、測定器の効率と作業者の生産性向上に役立ちます。StrataSync により、ブラウザを使用した簡単な操作で在庫管理、テスト結果の集計、および性能データの配信ができる。StrataSync は、テスト機器を管理、追跡し、ネットワーク全体から結果を収集し、分析します。また、従業員のトレーニングや情報提供にも役立ちます。





viavisolutions.jp

〒163-1107
東京都新宿区西新宿6-22-1
新宿スクエアタワー7F

電話: 03-5339-6886
FAX: 03-5339-6889
Email: support.japan@viavisolutions.com

© 2025 VIAVI Solutions Inc.

この文書に記載されている製品仕様および内容は
予告なく変更されることがあります

ona800-800gtransport-br-fop-nse-ja
30194424 900 0425